

令和 4 年 4 月 4 日
愛 媛 大 学

愛媛大学大学院農学研究科 SDGs シンポジウム 農学×SDGs 2022の開催について

2015 年国連総会で採択された「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」において、持続可能な開発目標 (SDGs) として 17 の世界的目標が示されてすでに 6 年になります。

ちょうど同じころ愛媛大学農学部・大学院農学研究科も農学の教育研究の目標の再定義をはじめました。

そして 2016 年、「食料」「生命」「環境」をキーワードに新しい 3 学科制での教育研究活動をスタートし、以来 SDGs にも真摯に向き合ってきました。この中でほとんどの教員・研究者が共通して実感しているのは、これまで行ってきた、そしてこれから行おうとしている農学研究はすべて SDGs に通じているということでした。

この度、今後世界を変えていく可能性がある愛媛大学農学部・大学院農学研究科の農学研究を紹介し、農学×SDGs を広く知っていただくことを趣旨とし、SDGs シンポジウムを開催します。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：令和 4 年 5 月 30 日 (月) 13 時 30 分～15 時 30 分

場 所：オンライン開催 (Zoom)

定 員：300 名 (事前登録制)

登録締切：令和 4 年 5 月 23 日 (月) 17 時 00 分

※詳細は、別紙チラシをご参照ください。

<お願い>

事前に取材の参加者数を把握するため、取材に来られる場合は 5 月 26 日 (木) までに、電話又はメールにて下記担当までご一報ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場ではマスクの着用及び手指消毒等にご協力願います。



本件に関する問い合わせ先

愛媛大学農学部事務課

TEL : 089-946-9803

Mail : agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料 2 枚 (本紙を含む)



愛媛大学大学院農学研究科SDGsシンポジウム

農学×SDGs 2022

～世界を変える農学研究を目指して～

2015年国連総会で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」において、持続可能な開発目標（SDGs）として17の世界的目標が示されてすでに6年になります。ちょうど同じころ愛媛大学農学部・大学院農学研究科も農学の教育研究の目標の再定義をはじめました。そして2016年、「食料」「生命」「環境」をキーワードに新しい3学科制での教育研究活動をスタートし、以来SDGsにも真摯に向き合ってきました。この中でほとんどの教員・研究者が共通して実感しているのは、これまで行ってきた、そしてこれから行おうとしている農学研究はすべてSDGsに通じているということです。

本シンポジウムでは、今後世界を変えていく可能性がある愛媛大学農学部・大学院農学研究科の農学研究を紹介し、農学×SDGsを広く知っていただくことを趣旨とします。

2022年

日時

5月30日(月)

13:30～15:30

場所

オンライン開催

(Zoom, 定員300名, 事前登録制)

参加登録はQRコードまたは

愛媛大学農学部ホームページから

登録締切：5月23日(月) 17:00

参加費

無料

【プログラム】

1. 開催挨拶
西村 勝志 愛媛大学副学長・SDGs推進室長
2. 講演
司会進行：岸田 太郎 農学研究科副研究科長
「ハダカムギの栽培技術の高度化と有効利用」
食料生産学専攻農業生産学コース 荒木 卓哉
「柑橘果皮を活用した機能性食品開発による柑橘産業の持続的発展への取り組み」
生命機能学専攻健康機能栄養科学特別コース
応用生命化学コース 菅原 卓也
「熱帯泥炭湿地開発が樹木の生物季節にあたる影響について」
生物環境学専攻森林資源学コース 嶋村 鉄也
「農学分野における水の再生・再利用の世界的意義と技術開発」
生物環境学専攻水環境再生科学特別コース
地域環境工学コース 治多 伸介
「昆虫利用の新たな可能性：昆虫が拓く水産養殖の未来」
生物環境学専攻環境保全学コース 三浦 猛
3. 閉会挨拶
山内 聡 農学研究科長

